

第2刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
72頁 図Ⅱ-1-4	棒グラフ「細胞内液」有機リン酸塩	リン酸塩
82頁 図Ⅱ-1-15	引き出し文字「咽頭隆起(甲状軟骨)」	「喉頭隆起(甲状軟骨)」
116頁 上から13行目	…鼻腔にはじまり咽喉頭, 気管…	…鼻腔にはじまり咽頭, 喉頭, 気管…
120頁 下から8行目	…胸膜を肺胸膜, …と呼ぶ。肺胸膜と壁	…胸膜を臓側胸膜, …と呼ぶ。臓側胸膜と壁
122頁 下から8行目	…., その径は約…	…その厚さは約…
124頁 上から10行目	…は平衡して一定の関係があり, …	…には一定の関係があり, …
170頁 図Ⅱ-1-110	中葉	中葉とそれをさす矢印削除
171頁 上から6行目	…授乳期の乳汁分泌も促進する。	…授乳期の乳汁の射出を促進する作用もある。
180頁 図Ⅱ-1-115	図なかほどのトロンビンからフィブリノゲンへの→	トロンビンからの矢印はフィブリノゲンとフィブリンへの→へ
198頁 上から15行目	蛋白質を構成するアミノ酸のうち20種類は…	蛋白質を構成する20種類のアミノ酸のうち9種類は…
200頁 下から2行目	760mmHg × 0.21% = 160 mmHg	760 mmHg × 21% = 160 mmHg
201頁 1行目	山頂上では470mmHgで海拔0mの約2/3, 世界の最高峰約8,850mのエベレスト山頂では235mmHgで海拔0mの約1/3となる。…	山頂では海拔0mの約2/3, 標高8,848mのエベレストの頂上では海拔0mの約1/3になる。…
203頁 上から18行目	…酸素と結合したときを100%となる酸素と結合して	…酸素と結合したときを100%として, 酸素と結合して
403頁 表Ⅲ-2-4		肝不全によるはさみ足歩行は間違いではないが, まれであることから, 表Ⅲ-2-4から「肝不全」を削除
下巻		
頁	誤り	正
591頁 表Ⅲ-3-1	慢性閉塞性肺疾患の項 副呼吸筋の発達	呼吸補助筋の発達
591頁 表Ⅲ-3-1	肺結核後遺症の項 上室不整脈を…	上室性不整脈を…
593頁 下から13行目	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長, 体重から…	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長から… (体重を削除)
594頁 表Ⅲ-3-2	呼吸の項 全肺野呼吸音の減弱*	全肺野呼吸音の減弱 (*を削除)
799頁 最後の行	…低血糖時にブドウ糖を頸静脈投与…	…低血糖時にブドウ糖を経静脈投与…
800頁 表Ⅲ-5-24	「不足↓」の2行目 下垂体機能低下症	続発性副腎皮質機能低下症
822頁 上から16行目	…輸液の適用になる。	…輸液の適応になる。

822頁 下から14行目	I型アレルギーによる。……	削除
876頁 上から14行目	母親の口中内にある本ウイルス…	母親の口腔内にある本ウイルス…
899頁 下から19行目	…肝機能異常(elevated live renzymes),…	…肝機能異常(elevated liver enzymes), …
981頁 下から19行目	第3頸髄より上位の頸髄損傷では……	第3頸髄節より上位の頸髄損傷では……
987頁 上から2行目	…気胸, すなわち胸腔内に空気が…	…気胸, すなわち胸膜腔に空気が…
987頁 下から12行目	…胸壁の創部に胸腔内へ向かう…	…胸壁の創部に胸膜腔へ向かう…
987頁 下から11行目	…呼気時に胸腔内に流入した空気…	…呼気時に胸膜腔に流入した空気…
987頁 下から10行目	…しだいに胸腔内に蓄積する。…	…しだいに胸膜腔に蓄積する。…
988頁 下から6行目	…吸気時に膨隆する奇異呼吸を示す。…	…吸気時に陥没する奇異呼吸を示す。…
1016頁 下から20行目	…上腕骨の遠位端が後方に転移する。…	…上腕骨の遠位端が後方に転位する。…

### 第3刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
90頁 上から9行目	内果:腓骨の内側下端部分(ウチクルブシ)。	内果:脛骨の内側下端部分(ウチクルブシ)。
420頁 上から16行目	充血がみられる場合には急性緑内障発作である可能性が高い。	の充血(毛様充血)がみられる場合には急性緑内障発作である可能性が高い。

### 第4刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
542頁 上から5行目	⑬鼻腔・口腔の順で羊水や分泌物を吸引する。	⑬口腔内・鼻腔内の順で羊水や分泌物を吸引する。
下巻		
頁	誤り	正
730頁 表Ⅲ-5-7最下段のパラグラフ右段	慢性低酸素血症, 慢性閉塞性肺疾患	, 慢性閉塞性肺疾患を削除
1073頁 上から3行目	医療機関では, ヒ素中毒と同様, 亜硝酸ナトリウム……	医療機関では, シアン中毒と同様, 亜硝酸ナトリウム……

第5刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
80頁 図Ⅱ-1-10 体幹骨格の透見図 a:前	1番下の引き出し線の位置	5mm上の尾骨を指すものに変更
137頁 下から13行目	血液分布は、静脈系に全体の約70%が分布しており...	血液分布は、静脈系に全体の約60~70%が分布してお
149頁 図Ⅱ-1-91 b: 大腸壁の微細構造 右最下段の引き出し	粘膜下層	漿膜下層
261頁 図Ⅱ-3-1 タイトル	毒物と劇物の表示	毒薬と劇薬の表示
261頁 上から1行目	薬事法では...	薬機法では...
266頁 上から10行目	...LD <sub>50</sub> (leathal dose 50, 50%致死量)...	...LD <sub>50</sub> (lethal dose 50, 50%致死量)...
269頁 上から11行目	...塩化ナトリウム0.6g...	...塩化ナトリウム6g...
316頁 下から12, 13行目	背部叩打法のみを行う。...	背部叩打法と胸部突き上げ法を併用する。...
358頁 表Ⅲ-1-29 最右列1行目	養成機関	養成期間
386頁 上から9行目	...最低で2日間, 最長で4週間程度持続する	...最低で3日間, 最長で4週間程度持続する
447頁 図Ⅲ-2-38 1番右で下から5番目の囲み	電極コードを抜く	電気器具のコードを抜く
464頁 写真Ⅲ-2-37 右上の写真の説明文②の2行目	...抵抗を感じなくなるところまで挿入する	...抵抗を感じるのところまで挿入する
下巻		
頁	誤り	正
624頁 下から5, 6行目	...社会復帰率は22.2%であった。市民により目撃された心原性心肺停止症例のうち、居合わせた市民によって心肺蘇生を受けたのは44.3%で、...	...社会復帰率は22.4%であった。心肺停止症例のうち、居合わせた市民によって心肺蘇生を受けたのは44.9%で、... (「市民により目撃された心原性」を削除)
687頁 上から2行目	一般に、体温が1℃上昇するごとに心拍数は18/分増加することから、	一般に、体温が1℃上昇するごとに心拍数は8~10/分程度増加することから、
808頁 下から4行目	...低血糖を自覚する閾値が低下し、...	...低血糖を自覚する閾値が上昇し、...
907頁 上から1, 2行目	...合計点で3点未満が重症新生児仮死と判断される。5点未満は危険と考えてよい。	...合計点で3点以下が重症新生児仮死と判断される。 (「5点未満は危険と考えてよい」を削除)
1084頁 下から10行	...(食道心臓発作)とも呼ばれる。...	...(食堂心臓発作)とも呼ばれる。...
1112頁 上から4行目	...必要に応じた汚染	...必要に応じた除染

---

第6刷で訂正予定

上巻		
頁	誤り	正
136頁 下から15行目	…全血液量の約60%は常に静脈に存在している	…全血液量の約60～70%は常に静脈に存在している